

STEP

一般財団法人 四国産業・技術振興センター

ねっとわーく

Shikoku Industry & Technology Promotion Center

2025

夏号

巻頭言 三井物産株式会社 四国支社長 平井 正明

お知らせ 2025年度産学共同研究開発助成事業の募集
2025イノベーション四国顕彰事業(募集予告)



上勝町 榎原の棚田(徳島県)

巻頭言

四国と共に創る

三井物産株式会社
四国支社長 平井 正明

01

お知らせ

- 2025年度産学共同研究開発助成事業の募集
- 2025イノベーション四国顕彰事業(募集予告)

02

事業活動の紹介

(1) 新技術・新製品開発の支援

- ① 成長型中小企業等研究開発支援事業 (Go-Tech 事業) 成果報告
- ② 2024年度事業化案件研究調査事業の成果報告
- ③ 2025年度事業化案件研究調査事業の支援先決定
- ④ 「カーボンニュートラルに向けた取り組み事例集」の紹介
- ⑤ 四国経済産業局「令和6年度フードテック分野における知財活用支援事業」実施報告

04

(2) プラットフォームを活用した支援

- ① 令和7年度 機能性食品の普及と創出支援の概要
- ② 令和7年度 CNFを活用した新事業の創出支援の概要
- ③ 「四国健康支援食品普及促進協議会」令和6年度総会開催

13

(3) 販路・用途開拓の支援

- ① 令和7年度 マッチングサイト「ヘルシー四国」活用による販路開拓支援の概要
- ② 四国健康食品普及促進協議会 ifia JAPAN 2025に出展
- ③ マッチングウェブ「ヘルシー四国」 登録企業の紹介(池田薬草株式会社)

17

(4) その他の事業

- ① 令和7年度定例理事会・定時評議員会開催
- ② 2025年度 公益財団法人JKA補助事業交付式
- ③ 第二期四国地域連携支援計画(高機能素材関連分野)全体会合
- ④ イノベーション四国 令和7年度上期IC・支援機関連絡会開催
- ⑤ 全国地域技術センター連絡協議会 事務連絡会

20

新賛助会員の紹介

株式会社マルヤス

27

賛助会員からのトピックス

三井物産株式会社 四国支社

28

STEPのひとりごと

編集後記

30

巻頭言

四国と共に創る

三井物産株式会社
四国支社長 平井 正明



三井物産の平井と申します。

私は20代後半の約3年半を高松で過ごし、四半世紀を経て今回が2度目の赴任となり、現在3年目を迎えております。前回の赴任時と比べて大きく変わった点としては、サンポートの開発により高松の玄関口が美しく整備されたこと、そして四国全体で高速道路の延伸・拡幅が進んだことが印象的です。

これまでにロンドンとドバイで通算10年ほど海外駐在を経験しました。ロンドンからは欧州全体へ、ドバイからは中東全域へと、ビジネスやプライベートで各地を訪れ、現地の歴史・伝統・文化・宗教などを五感で体感することができました。その結果、異なる価値観や文化を自然に受け入れられるようになったと感じています。

私は入社以来、商社として海事産業（造船・海運）に携わってまいりました。船舶の売買や用船に加え、船舶の保有も経験しております。四国には、高知が三菱、そして新居浜が住友の発祥の地として知られていますが、三井との直接的な縁はあまり多くありません。ただし、前回の高松赴任中に伴侶を得たこともあり、個人的には非常に深いご縁を感じております。

さて、弊社の重点戦略は、大きく分けて「脱炭素」「ウェルネス」「産業課題の解決」の三つです。四国の産業構造、経済状況、人口動態、自然条件などを踏まえ、これらの戦略に沿ったスケールのあるビジネスを創出することが支社の使命となっております。ご想像の通り、容易なことではありませんが、やりがいがあると思います。

そのような中で、STEPの活動は新たなヒントを得る貴重な機会であると考えております。私自身、理系出身ということもあり、技術革新やイノベーション分野には特に関心を持っています。四国地域では、海事分野に特化したスタートアップはまだ多くは見られないかもしれませんが、海洋資源・環境に取り組む企業があり注目しております。

また、弊社にはビジネスの枠を超えた社会貢献活動として「共創資金」という助成制度があります。これは、地域や社会の課題に取り組む研究者やスタートアップと弊社社員が協働し、社会課題の解決を目指す取り組みです。こうした仕組みも通じて、四国地域に貢献できないかと日々模索しております。

2025年度産学共同研究開発助成事業の募集

企業と大学等の共同研究・製品開発に助成を行います

当センターは、イノベーション四国と連携し、企業の技術開発・販路開拓をはじめとするイノベティブな取り組みに対する支援を行っており、四国の中小企業が大学・高専および公設研究所等と行う共同研究・製品開発について、下記のとおり、助成対象事業の募集を行います。

◆「産学共同研究開発助成事業」募集概要

対 象 者	大学・高専および公設研究機関等（以下「大学等」という。）の研究者と共同研究開発を実施しようとする四国内に本社または事業所を持つ中小企業等とします。 なお、大学等の所在地は問いません。
対 象 事 業	企業が取り組み中または検討中の技術開発・製品開発のうち、大学等と共同で行う研究開発事業とします。 ただし、助成対象となる研究期間は2025年9月1日から2026年8月31日までの間とします。
対 象 経 費	当該事業の実施に直接必要な経費（共同研究費および消耗品費等自主研究費）
支 援 金 額	1件あたり50万円（消費税込み）を限度とします。
研 究 期 間	1年以内（2025年9月1日～2026年8月31日までの間）
募 集 期 間	2025年7月1日（火）～7月31日（木）
応 募 方 法	所定の申請書に必要事項を記載のうえ、当センターに提出 （申請書様式は、当センターのホームページからダウンロードできます。） https://www.tri-step.or.jp/support/development/application-requirements/
選 考	採択件数は4件程度を予定しており、審査委員会において、「技術面」「事業化面」「政策面」について書類審査および必要な時はヒアリングを行い評価した上で決定します。
採 否 等 の 通 知	8月下旬頃に応募者宛てに通知します。
実 績 報 告	事業完了後、実績報告書を提出していただきます。
応 募 に 関 す る お 問 い 合 わ せ お 申 し 込 み 先	〒760-0033 高松市丸の内2番5号 一般財団法人四国産業・技術振興センター 産業振興部 漆原 TEL: 087-851-7081 FAX: 087-851-7027 E-mail: step@tri-step.or.jp

2025イノベーション四国顕彰事業（募集予告）

第30回四国産業技術大賞

■四国産業技術大賞

●公募期間 令和7年9月1日（月）～10月31日（金）

（表彰区分）

①産業技術大賞 ②革新技術賞 ③革新産業賞 ④技術功績賞

四国地域の産業技術の発展に顕著な功績があった企業等を表彰することにより、企業等の士気高揚を図り、四国地域の産業技術の高度化に資することを目的とします。

2024イノベーション四国顕彰事業

令和6年度 四国産業技術大賞受賞者一覧

受賞種別	受賞者名 (所在地)	受賞概要	推薦者
産業技術大賞	株式会社エコマスター (香川県三豊市)	燃やせるごみのリサイクルと脱炭素化を両立する「好気性発酵乾燥方式」の開発と実践	三豊市
最優秀革新技術賞	株式会社富士クリーン (香川県綾歌郡)	メタン発酵施設の運営管理を支援するバイオガス発生予測・提案システムの開発	香川県産業技術センター
最優秀革新技術賞	株式会社マルヤス (愛媛県新居浜市)	ロスフィルムを熱劣化なくプラスチック原料となるペレットに変えるペレット再生装置	(自薦)
最優秀技術功績賞	株式会社カナン・ジオリサーチ (愛媛県松山市)	地下と地上の3次元情報一元化管理システムの開発	えひめ産業振興財団
最優秀技術功績賞	有限会社ハマスイ (愛媛県南宇和郡)	魚の鮮度保持期間を延ばす脱血技術と地元の希少柑橘を組み合わせた「愛南ゴールド真鯛」	えひめ産業振興財団
優秀革新技術賞	田中技研株式会社 (愛媛県西条市)	CFRPパイプ材成形用簡易自動巻き付け装置	愛媛県産業技術研究所
優秀革新技術賞	河野製紙株式会社 (高知県高知市)	新保湿ティッシュ「絹雲」3枚重ね	高知県立紙産業技術センター
優秀技術功績賞	土佐鶴酒造株式会社 (高知県安芸郡)	高知県特産ゆず果汁を発酵させる伝統技術と新技術の融合	高知県工業技術センター
優秀技術功績賞	アイム株式会社 (愛媛県四国中央市)	食品ロス削減に貢献する鮮度保持コーティングフィルム「I-SCH」	愛媛県産業技術研究所
優秀技術功績賞	伊方サービス株式会社 (愛媛県西宇和郡)	認知機能の一部である記憶力を維持する飲料開発及びSR無償提供の仕組みづくり	愛媛県産業技術研究所
奨励賞	有限会社内田パン (愛媛県松山市)	鯛骨粉を活用したカルシウム増強パン・菓子の開発	愛媛県産業技術研究所

1 新技術・新製品開発の支援

①成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech事業）成果報告

令和4年度Go-Tech採択事業「マテリアルズ・インフォマティクス解析によるセルロースナノファイバー中間素材作成の最適化」については、令和7年3月末で3年間の研究期間が終了したので、その成果概要を報告します。

【開発概要】

セルロースナノファイバー（CNF）は、優れた物性をもつがCNF成形体の作成に必須な脱水と乾燥がコスト高の原因である。本研究開発ではマテリアルズ・インフォマティクス（MI）を用いて、CNF原料の品質やCNF成形条件のパラメータおよび物性データ等を解析・予測することにより、従来のCNF成形体作成に係る全ての手法の刷新を行うことで、低コスト・高品質なCNF中間素材作成の最適化を行い、汎用性を高める。

【研究体制】

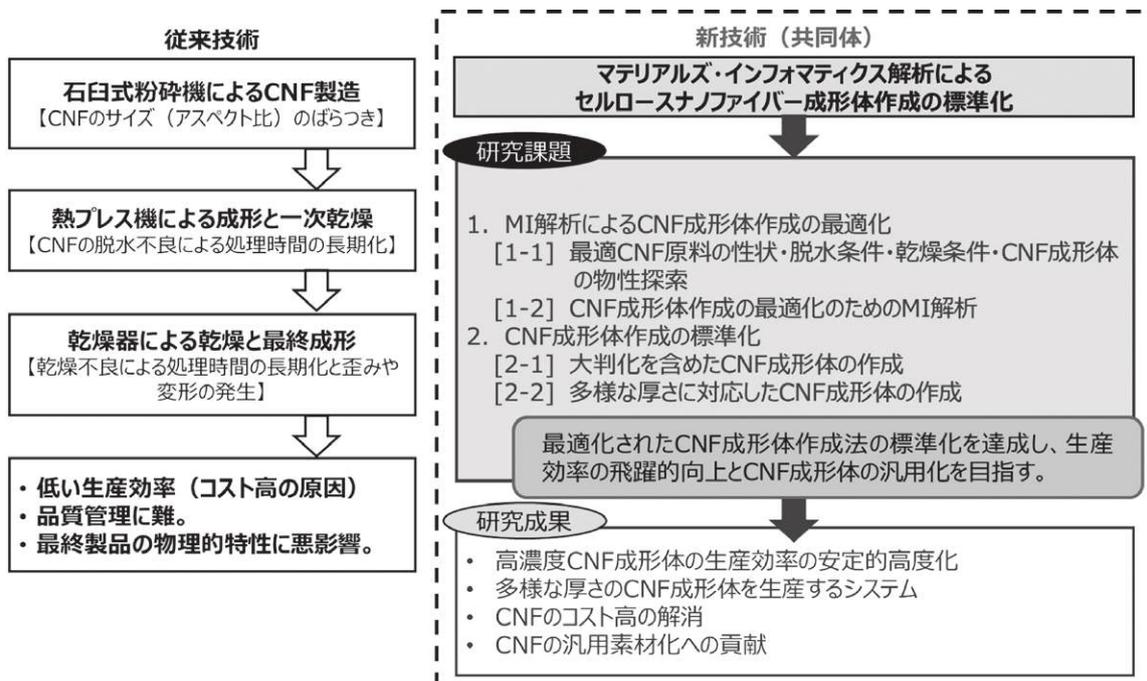
事業管理機関：一般財団法人四国産業・技術振興センター

研究実施機関：株式会社山本鉄工所（PL）

：カミ商事株式会社（SL）

：徳島県立工業技術センター

【MIを用いたCNF成形体の高度化技術の開発】



従来技術とMI解析を用いた新技術の比較と期待される成果

【成果発表・用途開発】

<成果>

- ・脱水時間の短縮化
- ・乾燥における革新的新技術の発見
- ・CNF成形体にガスバリア性という新機能付与
- ・ポリプロピレンの2倍以上の強度
- ・ポリプロピレンの約2倍の衝撃強さ
- ・ステンレス鋼(SUS304)を超える比強度
- ・アルミ蒸着を超える酸素バリア性
- ・最高レベルの水素ガスバリア性
- ・最高レベルの脱炭素効果
- ・MI解析によるCNF成形体物性の最適化

<展示会>

- ・国際航空宇宙展(R6.10.16-18)
- ・ふじのくにセルロースナノファイバー循環経済国際展示会(R6.10-24-25)
- ・高機能week サステナブルマテリアル展(R6.10.29-31)
- ・Nanotech展(R7.1.29-31)

<講演>

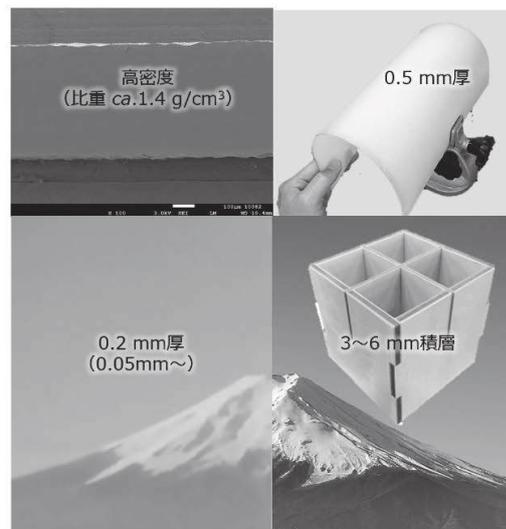
- ・ナノセルロースジャパン主催シンポジウム 先進事例紹介(R7.1.31)
- ・日比谷宇宙会(R7.2.7)
- ・静岡県庁新産業集積課ワークショップ(R7.3.18)

Copy Right@KAMI Shoji Co., LTD. 65

アモルセル®は何に使える？

- ・強靱性／弾性変形／金属代替
 - ・モビリティ部材／スポーツギア
- ・耐衝撃性／耐油性／耐熱性／耐寒性
 - ・モビリティ部材／スポーツギア
- ・アウトガス・ゼロ
 - ・人工衛星部材・筐体
- ・酸素ガスバリア性
 - ・ガス遮蔽材
- ・水素ガスバリア性
 - ・水素燃料電池／ガス遮蔽材

急募！ ビジネスパートナー



○用途展開

スポーツギア素材、振動版、人工衛星部材、モビリティ部材、装置部材、構造部材ほか

○当技術の連絡窓口

カミ商事株式会社 (<https://kamisyoji.co.jp/>)

開発企画部 柏田 祥策

TEL (0896)23-5400 FAX (0896)23-5476

②2024年度事業化案件研究調査事業の成果報告

◆O-Force合同会社の研究調査成果

研究調査テーマ名	α シヌクレインを分解する酵素ペプチドを用いたパーキンソン病治療薬開発
実施期間	2024年4月～2025年2月
企業名	O-Force合同会社
研究調査概要	これまでの検討においてパーキンソン病(PD)原因タンパク質である α シヌクレインの凝集を抑制するペプチドを見出し、PDモデルマウスへ経鼻投与を行うことで運動機能を改善することを明らかにしている。さらに一連の研究過程で α シヌクレインを分解するCatalytideを同定した。そこで、本研究では見出した有用性の高いCatalytideを基に構造最適化及び非臨床試験に向けた基礎的な薬効薬理データを取得する。

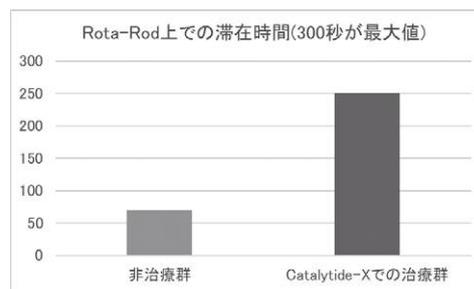
研究調査成果

これまでに同定した α シヌクレインを加水分解するCatalytide Aについて、構造最適化研究として10万通りの候補配列の中から最も α シヌクレイン加水分解作用が強いCatalytide-Xを同定することが出来た。そのCatalytide-Xは、我々が開発した簡便なPDモデルマウスである α シヌクレイン断片脳室内PDモデルマウスに経鼻投与することで、低下する運動機能を改善するのみでなく、パーキンソン病の主な病理所見であるドーパミン神経の脱落も抑制することが明らかになった。

これまで、産学共同研究開発助成事業として α シヌクレインの凝集抑制作用を示すペプチドの開発を行ってきたが、凝集抑制では根本的に脳内に沈着した α シヌクレインを取り除くことは困難と考えていた。しかしながら、本研究により α シヌクレインそのものを分解除去するCatalytide-Xが同定できた。このことから、進行を遅らすことも困難であるパーキンソン病の根本的な治療薬開発につながる成果が得られた。

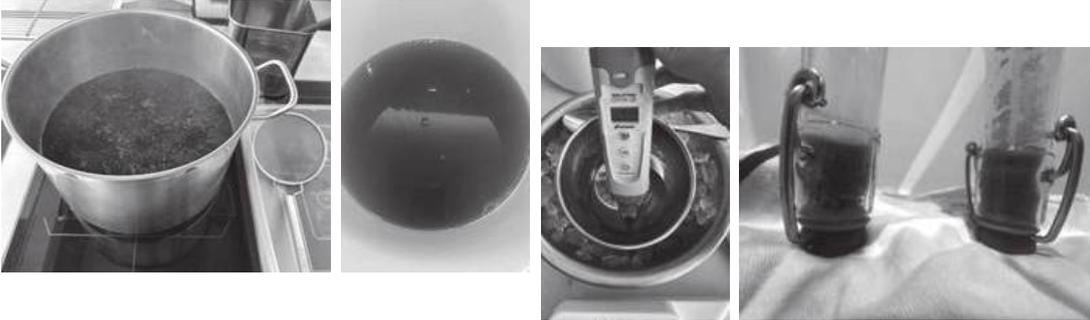


運動機能評価試験(ロタロッド試験)



Catalytide-Xの治療効果

◆ 合同会社シーベジタブルの研究調査成果

研究調査テーマ名	海藻発酵飲料の製品化に向けた至適発酵条件の研究
実施期間	2024年7月～2024年9月
企業名	合同会社シーベジタブル
研究調査概要	海藻に加糖して複合微生物群により発酵させた新規海藻発酵飲料の製造工程の至適化のための研究を実施する。事業規模生産用タンク(100ℓ規模以上)での安定生産を達成した後、将来的に就労支援施設利用者に委託した生産が可能になるよう配慮しながら、生産方法の確立とマニュアル化を行う。
研究調査成果	
<p>海藻に加糖して複合発酵により発酵させた新規海藻発酵飲料の製造工程の至適化のための研究を実施。製品化に向けて製造方法の再構築に取り組んだ。</p> <p>phとbrixの数値の変化を記録し、発酵の条件を検証。</p> <p>糖類の変更による発酵状態と発酵が止まった時の飲料としての質を確認。</p> <p>保存試験、熱殺菌、瓶内二次発酵による発酵止めなどを相談、味の変化を予測。</p>	
	
<p>製造工程について工業化を目指し試験製造。</p> <p>糖類の調整や、人力で行っていた作業を削り、よりマニュアル化したレシピに変更した(原料の切り出しや、煮出し方、タンクへ移す作業など)。</p> <p>並行して、phとbrixの数値の変化を記録し、発酵の条件や、菌の変化を観察。</p> <p>商品化するために一定の保存期間が必要なため、今までのレシピにはなかった熱殺菌や、糖類の調整により、安定した質での保存が可能な方法を試験。</p> <p>大容量を試験委託製造する過程で、現時点のレシピでは保存期間がどれくらいになるのか確証が持てず、一旦製品化を再検討することになった。</p> <p>商品化にあたり流通を考えると最低でも6ヶ月の賞味期限は欲しいと思っていたが、本事業における試験の中では2週間が限界という試験の結果だった。</p>	

◆株式会社日進機械の研究調査成果

研究調査テーマ名	新規MEMS物性センサーを活用したマイクロ材料試験機の研究開発
実施期間	2024年7月～2025年2月
企業名	株式会社日進機械
研究調査概要	株式会社日進機械とアオイ電子株式会社は、数十 μm サイズの微小試料の複数の物性を計測可能なマイクロ材料試験機の研究開発を行う。アオイ電子が開発済のナノピンセットの技術シーズを元に、微小試料の把持荷重と変位量を同時計測する圧縮試験や、電界印加し電気特性試験などを行える、新規の物性センサーをアオイ電子のMEMS技術により共同開発する。また、それを活用したマイクロ材料試験機が貢献するニーズ調査も行う。
研究調査成果	
<p>株式会社日進機械とアオイ電子株式会社は、数十μmサイズの微小試料の複数の物性を計測可能なマイクロ材料試験機の研究開発を実施した。</p> <p>アオイ電子が開発済のナノピンセットの技術シーズを元に、その把持能力に荷重計測能力を加える当初の計画であったが、材料試験機を目指すゴールから、把持する機能ではなく、直進稼働する構造のセンサー（プローブ）の試作を進めることになり、直進稼働用の駆動回路と計測用の検出回路を同じプローブ内に持つ構造の試作品を完成させ、その性能を検証した。</p> <div style="text-align: center;">  <p>(圧縮引張対応型) (引張計測特化型)</p> <p>(試作したマイクロ材料試験機)</p> </div> <p>マイクロ材料試験機のニーズとその実現を見据えると、アオイ電子株式会社のMEMS技術により、検出・計測に特化した微小荷重用ロードセル（荷重変換器）を開発し、そこに他の要素技術を付加して、マイクロ万能（圧縮・引張・疲労）材料試験機を目指すことが、実現と普及の可能性が高いと判断し、製品化・事業化に向けての研究開発を継続する。</p>	

③2025年度の事業化案件研究調査事業支援先が決定しました

当センターでは、四国地域イノベーション創出協議会と連携し、事業化を目指す四国の中小企業様の技術開発・製品開発に関する2025年度の支援事業の公募を行い、厳正な審査を経て、以下の4件を支援先として決定いたしました。

当センターならびに四国地域イノベーション創出協議会は、技術開発・研究開発の支援に加え、開発終了後も成果の事業化や販路開拓等について引き続きフォローアップを行うこととしています。

●2025年度事業の支援先

企業名	研究開発テーマ、要約
井上石灰工業株式会社	<p>「高機能性酸化カルシウムの製造方法確立および用途開発に関する研究調査」</p> <p>電子部品の小型化・高性能化やフィルムの高機能化に伴い、ナノレベルで制御された機能性材料の需要が高まっている。当社では独自技術により、ナノスケールで構造制御された高機能性酸化カルシウムの開発に成功したが、工業化に向けては製造技術の確立が課題となっている。本研究では、この新規材料の製造方法確立を目指し、半導体封止材やフィルム分野での実用化に向けた研究調査に取り組む。</p>
株式会社 中温	<p>「高圧処理を使用した加工食品の開発」</p> <p>食品の高圧処理は、非加熱と反応促進の優位性を活かし殺菌をはじめ様々な機能が注目される。そこで高圧処理技術を用い、「端材野菜」が持つ栄養やうまみ成分等を肉に浸透させ、同時に「肉」にも短時間で熟成効果を期待した商品開発を行う。本研究により、市場ニーズの高い調理済み食品、HPP技術を初適用し、最適な高圧処理条件の探索、試作品に対する安全、物性、官能などの評価を行う。</p>
大和酸素工業株式会社	<p>「稚ウニ餌料としての付着性微小藻類の培養条件の研究」</p> <p>近年、日本でのウニ類の漁獲量は減少傾向にあるが、国内・海外でのニーズは増加している。したがって、放流や養殖によってウニの漁獲・生産量を増やすことはビジネスとしてかなり有望である。しかし現状では、放流や養殖に必要な稚ウニの供給が十分ではない。そこで、稚ウニを飼育するために不可欠な餌料藻類の培養条件を明らかにし、稚ウニを効率的かつ安定的に供給できるようにしてウニ漁やその養殖事業の活性化を図る。</p>
株式会社 ハマダフードシステム	<p>「犬・猫などの健康に配慮した、こんにやく（マンナンミルク）を原料とする低カロリー機能性ペットフード開発に向けたエビデンス取得事業」</p> <p>日本の伝統食品こんにやくの特性を生かし、犬・猫などの健康維持に寄与するペットフード用機能性原料を開発する。ペットの生活習慣病抑制のエビデンスづくりと共に、従来ペットフード原料に使われなかったこんにやくに新たな可能性を求める。当社と長年協力関係にあるハイスキー食品工業(株)と共に研究調査を行い、香川大学農学部応用生物科学科杉山康憲准教授に協力頂き科学的な検証を重ね、安全で効果的な製品を開発する。</p>



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助を受けて実施します。

<https://www.jka-cycle.jp/>

④「カーボンニュートラルに向けた取り組み事例集」の紹介

近年、気候変動問題への対応として、国が掲げる2050年カーボンニュートラル実現に向けた取り組みが、社会全体の喫緊の課題となっています。このような背景のもと、特に産業界の皆様の脱炭素化の必要性の理解促進と、カーボンニュートラルに向けた取り組みの一助となることを目的に、「カーボンニュートラルに向けた取り組み事例集」を作成いたしました。

この事例集では、カーボンニュートラル実現に向けた企業の具体的な取り組み事例（蒸気レス化、エコキュート導入、ヒートポンプ活用、ガス燃料転換など）に加え、活用可能な国の補助制度等を紹介しております。中でも、企業の皆様がカーボンニュートラルに向けた第一歩を踏み出す上で重要な、国の支援策である「省エネルギー診断事業」および「省エネ・非化石転換補助金」についてご案内します。

「省エネルギー診断事業」は、エネルギー使用状況を把握して省エネの第一歩を踏み出すことを目的としており、専門家が企業を訪問診断等を行い、運用改善や設備更新を提案します。令和6年度補正予算案として34億円が計上されており、ウォークスルー診断（企業負担額5,200円～）、IT診断（同20,000円～）、伴走支援（同10,000円～）といった類型があります。現在受付中であり、2025年12月中旬頃まで公募されています。この診断を受けることは、その後の「省エネ・非化石転換補助金」申請において追加評価の適用対象となるなど有利に働く場合があります。



省エネ診断を受けて、省エネ設備に更新！

公募日程： 受付中～2025年12月中旬頃

公募日程： 2025年8月中旬～9月下旬予定

省エネ診断事業
R6補正予算案額 34億円

省エネ・非化石転換補助金
R6補正予算案額 600億円

エネルギー使用状況を把握して
省エネの第一歩を

最長4年事業

最大補助40億円

類型	概要	企業負担額
ウォークスルー診断	専門家が企業を訪問診断	5,200円～44,400円
IT診断	使用状況を計測/分析	20,000円～200,000円
伴走支援	診断後も省エネ支援を継続	10,000円～44,400円

区分	中小補助率	補助上限額
工場・事業場型	～2/3 or ～1/2	40億円
電化・脱炭素燃转型	使用状況を計測/分析	5億円
設備単位型	診断後も省エネ支援を継続	1億円

中小企業等に向けた省エネ診断事業の実施後、省エネ・非化石転換補助金を応募した場合、“追加評価”の適用対象となります。

省エネ診断等で課題や導入方針が見えた企業の皆様には、「省エネ・非化石転換補助金」の活用が考えられます。この補助金は、省エネ性能の高い設備・機器への更新や電化・脱炭素燃料への転換を強力に後押しするもので、令和6年度補正予算案額は600億円と大規模な支援策です。最長4年の事業期間で、最大40億円の補助を受けることが可能です。公募は2025年8月中旬～9月下旬に予定されています。補助金には、工場・事業場全体で大幅な省エネを図る工場・事業場型（Ⅰ）（中小企業補助率～2/3 or ～1/2、補助上限額40億円）、電化や、より低炭素な燃料への転換を伴う機器への更新を補助する電化・脱炭素燃转型（Ⅱ）（電化の場合補助上限額5億円、それ以外は同3億円）、SIIが定めた基準を満たす指定設備への更新を補助する設備単位型（Ⅲ）（補助上限額1億円）といった類型があります。

当センターは、これらの支援策の活用を希望される企業の皆をサポートするため、域内省エネ診断事業者等と連携し、相談から診断、そして補助金の活用まで伴走してまいります。

「カーボンニュートラルに向けた取り組み事例集」は、企業の皆様が2050年カーボンニュートラル実現に向けた取り組みを具体的に進める上で、役立つ情報が詰まった一冊です。ぜひご活用いただき、省エネ・脱炭素化を通じた競争力強化や地域経済の活性化に繋げていただければ幸いです。

本事例集にご関心をお持ちの方、または省エネ診断や補助金について詳しく知りたい方は、当センター 産業振興部までお問い合わせください。

(一財)四国産業・技術振興センター 産業振興部
TEL:087-851-7081 E-mail:step@tri-step.or.jp

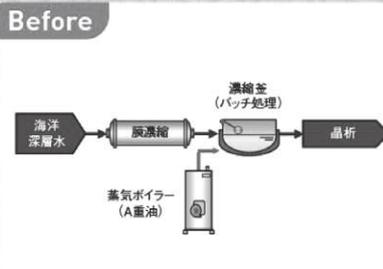
室戸海洋深層水株式会社の『ヒートポンプ式減圧濃縮装置』

室戸海洋深層水に含まれる豊富なミネラル成分を自然のまま保った塩・にがり製造する工程において、既設の濃縮釜で多量の水分を蒸発させるために事業所全体の60%のエネルギーを消費していました。この濃縮工程における燃料費削減と環境対策の観点から、ヒートポンプ式減圧濃縮装置の導入を決めました。(平成28年度省エネ大賞受賞)



省エネ
大賞
受賞

Before



After





一次エネルギー使用量: 100% → 64%削減 (36%)
CO2排出量: 100% → 71%削減 (29%)

■一次エネルギー使用量諸元
A重油:39.1MJ/L 電気:9.97GJ/千kWh(昼間), 9.28GJ/千kWh(夜間)
■CO2排出量諸元
A重油:2.71kg-CO2/L 電気:0.688kg-CO2/kWh

カーボンニュートラル に向けた 取り組み事例集

一般財団法人 四国産業・技術振興センター



「令和7年作成」

⑤ 四国経済産業局「令和6年度 フードテック分野における知財活用支援事業」実施報告

当センターは、四国経済産業局事業「令和6年度 フードテック分野における知財活用支援事業」を受託し、四国地域における食関連産業の活性化に向けて、四国地域の優位性を活かしたエコシステム構築を見据えた基盤作りを目的とした活動に取り組みましたので、以下のとおり概要を報告します。

当センターとしては、本事業を通じて得られた知見を今後活かすとともに、支援機関間の情報交換の場作り等に協力していく所存です。

〈事業実施概要〉

実施項目	実施内容
フードテックに係る基礎調査	フードテック分野における四国内の企業(51社)について情報収集を行い、そのうち、特徴的な取り組みを実施している企業(20社)に対して、ヒアリング調査を実施しました。
フードテック事例集作成	<p>フードテックに係る基礎調査(ヒアリング調査)で調査した四国内企業のうち18社及び四国域外企業2社(四国経済産業局調査)について、事例集としてまとめました。</p> <p style="text-align: center;">四国経済産業局のホームページから閲覧できます</p> 
四国フードテック普及啓発セミナー・展示会の開催	<p>「四国フードテック普及啓発セミナー(令和7年1月@高松)」を開催し、フードテック分野で活躍されている有識者、知財専門家および企業の方から、最新の動向や取り組みの紹介をいただきました。</p> <p>また、四国地域の企業の先進的な取り組みを展示する「四国フードテック展示会」を同時開催し、多くの方のご来場をいただきました。</p>
技術マッチング支援	<p>フードテック分野で高い技術シーズを有し、販路拡大を目指す企業5社に対して、専門家を活用した技術マッチングを実施しました。マッチング活動の結果、大手メーカーとの商談に向けた動き等が生まれるなど、今後の進展が期待されます。</p>
フードテックの社会受容性向上に向けた活動	<p>香川大学学生ESDプロジェクトSteeP(ステップ)の協力の下、同大学経済学部の学生を対象に、フードテックの講義前後での意識変化やフードテック食品の試食、購買意識の調査を実施しました。また、学生の企業訪問を行い、地元企業の優れた技術を知る機会創出にもつなげました。</p>
四国フードテック推進検討会の実施	<p>四国地域でのフードテック支援策策定に資することを目的に、「四国フードテック意見交換分科会」及び「四国フードテック推進検討会」を開催し、四国4県の企業支援機関等からご参加をいただきました。会議では、四国経済産業局から今後の支援方針が示され、参加機関からは「県域を越えた四国という枠でのフードテック支援事業について前向きに協力したい」との意見が出され、今後の関係機関の連携につながるご意見を多数いただきました。</p>

2 プラットフォームを活用した支援

①令和7年度 機能性食品の普及と創出支援の概要

四国における機能性食品創出に向けた取り組みとして実施している四国健康支援食品制度（ヘルシー・フォー）について、各種展示会・セミナーにおいて紹介し、認知度向上の取り組みを行うとともに、協議会会員間の交流促進に係る活動を行います。

事業名	概要
四国健康支援食品制度（ヘルシー・フォー）の運用	<ul style="list-style-type: none"> ・関係・連携機関が主催する各種セミナー、展示会等でのPR活動 ・四国食品素材論文ライブラリーの内容充実 など
四国健康支援食品普及促進協議会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会会員への食品機能性に関する各種情報提供（雑誌、新聞、中央省庁ホームページなど） ・本制度適用申請に関する講習会の開催 ・本制度の検討・申請手続きなどに関するサポート（個別対応） ・会員間の相互交流、特定の課題・テーマに関する会合の開催 ・製品開発・販路開拓に関するサポート（個別対応） など

四国健康支援食品制度（ヘルシー・フォー）認証食品

	認証番号	認証事業者	所在地	商品の名称（形態）	対象素材（※）
2017年度	第01-0001号	(株)レアスウィート	香川県	レアシュガースウィート(甘味料)	希少糖 (ブスコス、ソルボス、タカトース、アロース)
	第01-0002号	自然免疫応用技研(株)	香川県	健康茶さらそま(お茶)	バントエア・アグロメランス由来LPS
	第01-0003号	酔鯨酒造(株)	高知県	KENNOU けんのう(清涼飲料水)	葉酸、ビタミンB6、 ビタミンB12
	第01-0004号	バイオアイ(株)	大阪府	美ッ栗ポリフェノール(サプリメント)	栗渋皮抽出物 (愛媛県の企業が製造)
2019年度	第05-0005号	メディカルネットサーバー(株)	東京都	サンケイパワー(サプリメント)	バントエア・アグロメランス由来LPS (香川県の企業が製造)
	第05-0006号	メディカルネットサーバー(株)	東京都	スーパーサンケイエース(サプリメント)	バントエア・アグロメランス由来LPS (香川県の企業が製造)
	第05-0007号	(株)ベストフード	愛媛県	血圧ゼリー(サプリメント)	バリルチロシン (イワシ由来)
2020年度	第06-0008号	(株)アデランス	東京都	LPS免気エスコート(サプリメント)	バントエア・アグロメランス由来LPS (香川県の企業が製造)
	第07-0009号	赤穂化成(株)	兵庫県	志國の水、室戸の水、海の深層水 天海の水 硬度1000 (いずれも清涼飲料水)	海洋深層水ミネラル (高知県の事業所で製造)
	第07-0010号	(株)あさの	高知県	高知・生姜 あさの家 しょうが湯(粉末清涼飲料)	生姜加工物 (6-ジンゲロールと6-ショウガオールを含む)
2021年度	第08-0011号	(株)ル・シェール	東京都	ル・シェールプレミアムドリンクM&M(清涼飲料水)	バントエア・アグロメランス由来LPS (香川県の企業が製造)
	第08-0012号	池田薬草(株)	徳島県	スダチン錠 / Sudachin®(スダチン)(サプリメント)	スダチ果皮エキス末
2022年度	第10-0013号	(株)ふじや	徳島県	大豆ミートとすだちの餃子(一般加工食品)	スダチ果皮エキス末
2024年度	第12-0014号	健康屋本店(有)	愛媛県	アクトファージ(サプリメント)	バントエア・アグロメランス由来LPS

(※)食品あるいは食品の原材料となる素材のうち、健康でいられる体づくりに関する科学的な研究が行われたものをいいます。

(2025年5月末日時点)

②令和7年度 CNFを活用した新事業の創出支援の概要

四国は、全国的にも紙関連の産業が集積しており、これらの産業界では、紙の製造技術を活かせる次世代素材のセルロースナノファイバー(CNF)が注目されています。

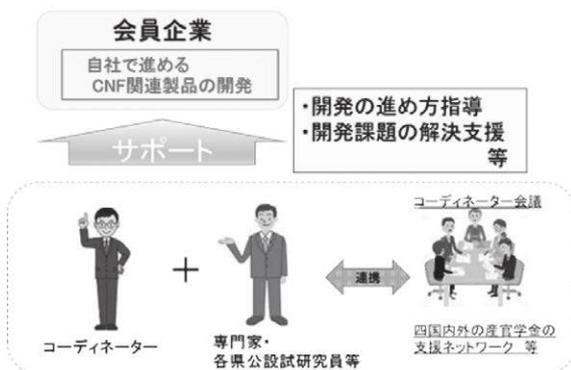
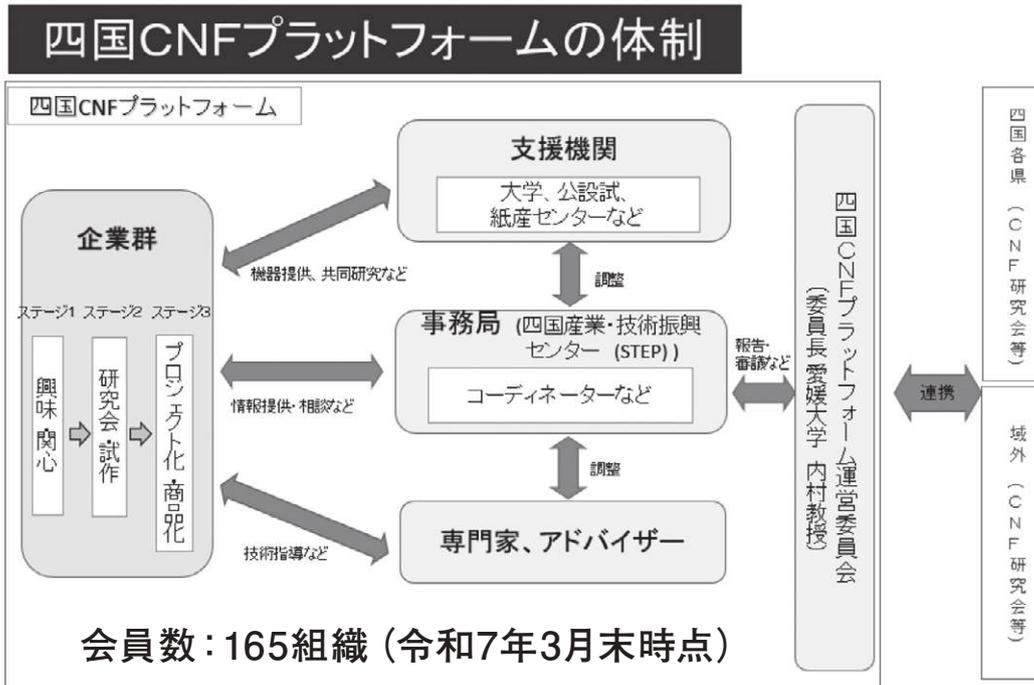
CNFは、自然由来材料から製造されかつ、板材に強度を付加する、液体の粘度を可変的に調整するなど、素材に多様な機能を付加することができ、自動車部品、建材、化粧品、食品分野など、多様な方面への利活用が期待されています。

ここ数年、多方面でCNFの利活用事例が出始めており、大王製紙(株)が本年CNF樹脂ペレットの商用設備(能力2千ton/年)を稼働させるなど、CNFの社会実装が定着するか重要な時期にさしかかっています。

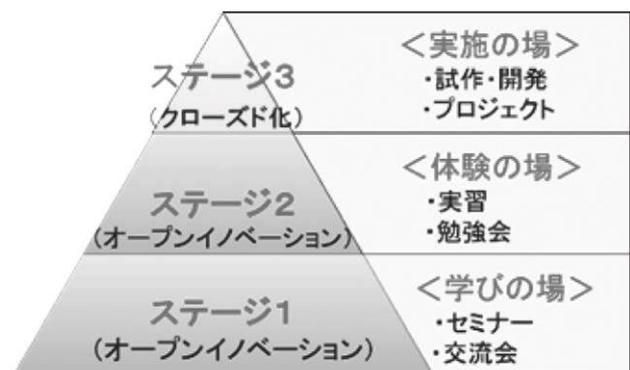
STEPでは、四国経済産業局と平成28年に設立した「四国CNFプラットフォーム」(運営委員長:愛媛大学内村浩美教授、事務局:STEP、会員企業等165組織 @R7.3E)をベースに、四国4県の公設試験所等と協力しながら、CNFを活用して自社製品の高付加価値化に取り組む企業を支援する活動に取り組んでおり、CNFの確実な社会実装を目指しています。

令和7年度は、企業訪問、セミナー開催等による「取組企業の発掘」や、製品開発案件に対するコーディネーター、専門家の技術指導等による「製品開発支援」、開発品をアピールする「展示会開催」などを実施し、支援先企業の「新しい事業の柱」に育つよう支援する計画です。

事業名	概要
CNFを活用した製品の開発支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ CNF利活用に取り組む企業にコーディネーターや専門家が訪問し、伴走型で技術課題解決や企業間連携などの開発支援を行うことで製品化につなげる。 ・ 「四国CNFプラットフォーム」をベースに、各支援情報を「CNF事業推進会議」で連携しながら支援。
企業訪問・普及啓蒙活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家等が企業を訪問し対話するなかで、四国の素材産業発展にとって有望な開発テーマ、取組企業を発掘する。 ・ 企業訪問時には、「CNF利活用検討ヒント集」等を活用し、企業ニーズをより具体的に引き出す。
四国セルロースナノファイバー展示会&CNF実用化事例紹介セミナー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四国でCNFに取り組む企業、CNFメーカー、支援機関等が、それぞれの取組みを展示・PRする展示会を開催。 ・ 同時に、製品を開発した企業等の方々から、経験談等を紹介いただくことにより、企業の取組意欲を高めるためのセミナーを開催。
CNF体験セミナー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習等でCNFの取扱いを体験していただき、CNFの取扱いのコツをつかんでいただくセミナーを開催。



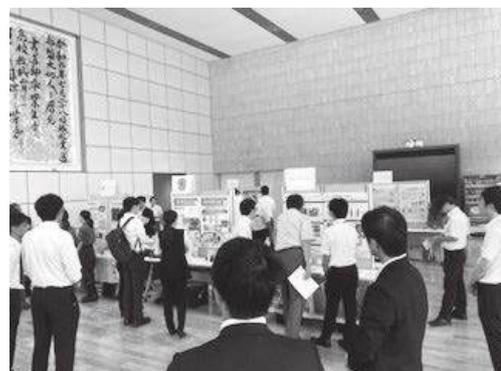
(製品開発の支援体制)



(四国CNFプラットフォームの事業構成)



(CNF活用検討ヒント集)



(四国セルロースナノファイバー展示会 R6年度)

③ 「四国健康支援食品普及促進協議会」令和6年度総会開催 ～ 役員選出、令和7年度事業計画案に関する審議など ～

四国健康支援食品普及促進協議会（事務局：当センター）は、3月21日、高松市にて令和6年度総会をオンライン併用で開催しました。（会員総数47会員のうち、オンライン出席も含め20会員が出席、欠席会員からは委任状を受領）

総会では、会長・副会長・顧問・監事の選出に続いて、令和6年度の事業実施報告や決算報告、剰余金繰越ならびに令和7年度事業計画について事務局より説明が行われ、全て原案どおり承認されました。「女性の参画のための分科会」については（株）中温の工藤 真巳氏より活動報告が行われました。

【令和7年度 会長・副会長・顧問・監事】

（敬称略）

役職	氏名	所属・役職
会長	辻田 純二	株式会社中温 常務取締役
副会長	箴島 克裕	仙味エキス株式会社 代表取締役社長
	河内 千恵	自然免疫応用技研株式会社 代表取締役社長
	鍵政 俊夫	池田薬草株式会社 代表取締役社長
	小松 静雄	室戸海洋深層水株式会社 代表取締役社長
顧問	柚 源一郎	自然免疫制御技術研究組合 代表理事
	菅原 卓也	愛媛大学農学部 教授
監事	板井 紀康	ヤマキ株式会社 商品開発部長

※副会長 鍵政俊夫氏は、前任の三浦宏之氏の人事異動に伴い、総会后、互選により選出

監事 板井紀康氏は、前任の牧野泰之氏の人事異動に伴い、総会后、会長が委嘱

総会終了後、塚田 愛氏（昭和大学医学部講師）から「5活（骨・筋・温・眠・腸）に役立つ植物のちから ～SDGs原料の開発と四国特産品の可能性～」と題してご講演いただきました。続いて、三浦 健人氏（北海道バイオ工業会事務局長）から「地方発食品機能性表示制度の認知度と購買意向に関する調査結果からみた新たな販売戦略」について情報連携していただきました。

最後に、本協議会では、令和7年度事業計画を着実に実施するとともに、本制度の普及拡大、認証食品の増加に向けて、本協議会会員のご支援・ご協力をお願いして閉会となりました。



辻田会長 挨拶



（株）中温 工藤氏 活動報告



昭和大学 塚田氏 講演



北海道バイオ工業会 三浦氏 情報提供

3 販路・用途開拓の支援

① 令和7年度 マatchingサイト「ヘルシー四国」活用による販路開拓支援の概要

四国の特徴を活かした機能性食品を含む付加価値のある食品素材・商品の創出を促し、その販路開拓を支援するため、令和3年度にSTEPがMatchingサイト「四国発!ヘルシー食品&素材Matchingウェブ(ヘルシー四国)」を構築しました。

令和7年度は、昨年に引き続き、本Matchingサイトの充実を図るとともに、本サイトを有効活用した販路開拓支援を強力に推進します。

事業名	概要
Matchingサイトの活用による販路拡大支援	<ul style="list-style-type: none"> ○主に企業間取引 (BtoB) を指向する食品素材・商品及び資機材等の製造企業の販路開拓・商品開発支援 ○Matchingサイト登録企業の販路拡大・商品開発を目的とした展示会出展支援 ○デジタルマーケティングに意欲のある企業を対象に、公的資格「ウェブ解析士」を有する専門家を派遣するなど、効率的なリスティング広告出稿などのハンズオン支援を行う。 など

ヘルシー四国は食品&素材のMatchingサイトです

四国発! ヘルシー食品&素材Matchingウェブ | ヘルシー四国

登録企業ログイン | 閲覧会員ログイン

機能性食品素材の 掲載無料! 事業支援・製品開発をサポートするMatchingシステム
デジタルMatching良縁の 4国

全国の卸会社や食品加工メーカーなどの方々に
閲覧していただける、企業間(BtoB) Matchingの
専門サイトです。

四国発! ヘルシー食品&素材Matchingウェブ
機能性食品素材のデジタルMatching支援 in 四国

本サイトの構築コンセプト

CONCEPT 1	CONCEPT 2	CONCEPT 3
<p>企業の皆さんが簡単に利用できること</p> <p>本サイト掲載の「ウェブサイトご利用条件」をご覧ください</p> <p>無料で利用できる</p> <p>簡単に、企業・商品が登録ができる</p> <p>閲覧会員登録すれば 限定公開情報(展示会のみでしか入手できない FCPシートなど)が閲覧できる</p>	<p>企業や製品の情報を様々な方法で見つけられること</p> <p>四国を中心とした食品素材・加工メーカー等が 素材や商品の特長などの情報を、訴求力が高い動画を利用して 積極的に掲載することで、BtoBマーケティングを意識した バイヤー等への情報提供が効率的に行える</p> <p>属性やキーワードによる高度な検索ができる</p> <p>四国における特徴ある食品の全国への 紹介サイトとして、通年で活用できる</p> <p>地理的・時期的な制約の解消</p>	<p>登録企業へのコンタクトが容易に行えること</p> <p>システム上で 登録企業へMatchingリクエストを送ることができる</p> <p>イベント開催スケジュールと連携し リアル商談を効率的、効果的に行うことができる</p>

○アクセス方法

① URL入力

URL : <https://www.healthy-shikoku.jp/>

② 検索サイトで検索

ヘルシー四国

③ QRコード



②四国健康食品普及促進協議会がifiaJAPAN2025に出展

四国健康支援食品普及促進協議会(事務局:当センター)は、「四国健康支援食品制度(愛称:ヘルシー・フォー)」の普及広報および本制度認証食品・機能性素材の販路開拓などを目的として、「第30回ifiaJAPAN2025(※)」の「産学官連携コーナー」に出展しました。

期間中、ブースにおいて本制度および認証食品・機能性素材を紹介するとともに、セッション会場では、産学官連携口頭発表として、ヘルシー・フォーの制度や認証食品・機能性素材のPRとともに、消費者庁の機能性表示食品とのダブル表示による四国ブランドの訴求についてプレゼンを行いました。協議会では、今後とも展示会やセミナーの機会を捉え、本制度と認証食品・機能性素材の普及広報・販路拡大に努めてまいります。

●開催概要

【期間】 2025年5月21日(水)～23日(金)

【会場】 東京ビッグサイト南1・2・3ホール

【来場者】 21日:8,971名、22日9,762名、23日11,281名
合計:30,014名

【出展数】 399社(653.5小間)

(出典)ifiaJAPAN事務局



ブース展示



会場の様子(産学官連携コーナー)

※ ifiaJAPAN2025(国際食品素材/添加物展・会議)

食品原料・素材関連企業と食品メーカー開発関係者とのビジネスマッチングの場として、株式会社食品化学新聞社の主催で開催されている展示会



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助を受けて実施しました。

<https://www.jka-cycle.jp/>

ヘルシー食品&素材マッチングウェブ【ヘルシー四国】 ご登録企業の紹介

当センターが運営しておりますマッチングサイト「四国発!ヘルシー食品&素材マッチングウェブ【ヘルシー四国】」にご登録いただいている企業様を紹介いたします。



自然の素材を高い技術で安全に加工し、人々の生活に役立てる。

池田薬草株式会社

○所在地：徳島県三好市池田町州津中津1808-1

TEL:0883-72-5320(代) FAX:0883-72-5005

企業ウェブサイト：<https://www.ikedayaakusou.co.jp/index.html>

○事業内容：第二種医薬品製造販売業、医薬品製造業、食品添加物製造業、機能性食品・健康食品製造

○企業PR：池田薬草株式会社が、清流・吉野川沿いの自然豊かな土地に誕生したのは昭和59年。

以来、四国の地域活性化と地域の福祉向上に寄与することを目的に発展して来ました。

私たちのそもそもの起源である「自然界に存在する素材のエキス抽出技術」をはじめとし、現在は、最も得意とする「粉末化技術」もさらなる進化を遂げています。

高品質で安全性の高いこれらの技術は、医薬品メーカー様や食品メーカー様からの多様なご要望に応え、あらゆる課題を解決しています。

時代の求めるニーズに沿って研究開発を続け、医薬品・機能性食品・健康食品の製造をととして社会に貢献し、信頼いただける会社であり続けること。

これが、私たち池田薬草の使命です。

○ヘルシー四国掲載商品

・スタチン錠 (Sudachin[®] 錠)

スタチ果皮エキス末 (Sudachin[®]) を錠剤化した製品です。スタチ果皮エキス末には抗糖尿病作用などが明らかとなっている「スタチチン」をはじめとする特徴的なポリフェノールが含まれています。その体重増加抑制作用が動物試験にて認められ、ヒト試験においても、内臓脂肪量減少などのポジティブな結果が得られました。四国健康支援食品制度 (ヘルシー・フォー[®]) の認証食品です。



スタチン錠



アロマエッセンシャルオイル

・アロマエッセンシャルオイル

徳島県産香酸柑橘 (すだち・ゆず・ゆこう) の搾汁果皮より、弊社にて抽出した清々しく爽やかな香りが特徴的な精油です。有機溶媒などを一切加えない抽出方法のため、安心してご使用いただけます。

池田薬草は、粉末化技術による原料の受託加工も行っています。

【池田薬草(株)ホームページ】<https://www.healthy-shikoku.jp/coms/view/1029>



4 その他の事業

① 令和7年度定例理事会・定時評議員会開催

四国産業・技術振興センターは、令和7年度の定例理事会、定時評議員会を開催しました。

定例理事会は6月4日、東急REIホテルにおいて、理事総数13名中12名の出席（うちWEBでの参加3名）および監事1名の出席により開催し、令和6年度の事業報告、決算 および公益目的支出計画実施報告書について承認しました。このほか、JKA補助事業の実施、定時評議員会の招集について承認しました。

定時評議員会は6月18日、東急REIホテルにおいて、評議員総数15名中11名（うちWEBでの参加1名）の出席および理事2名の出席により開催し、令和6年度決算等の承認のほか、理事および評議員の選任を決議しました。

令和7年度 定例理事会

1. 日 時：令和7年6月4日（水）13時00分～14時00分
2. 場 所：東急REIホテル
3. 出 席：理事12名、監事1名
4. 議 事：第1号議案 令和6年度事業報告について
第2号議案 令和6年度決算の承認について
第3号議案 令和6年度公益目的支出計画実施報告書の承認について
第4号議案 令和7年度（公財）JKA補助事業の実施について
第5号議案 定時評議員会の招集について

令和7年度 定時評議員会

1. 日 時：令和7年6月18日（水）13時00分～14時00分
2. 場 所：東急REIホテル
3. 出 席：評議員11名、理事2名
4. 議 事：第1号議案 令和6年度事業報告について
第2号議案 令和6年度決算の承認について
第3号議案 令和6年度公益目的支出計画実施報告書の承認について
第4号議案 令和7年度（公財）JKA補助事業の実施について
第5号議案 理事および評議員の選任について

承認された令和6年度決算

貸借対照表 (令和6年3月31日現在)

(単位:百万円)

	令和6年度	令和5年度	増 減
資 産	548	559	△11
負 債	11	13	△1
正味財産	536	546	△10

(注) 金額は、百万円未満切捨てで表示している。

損益計算書 (正味財産増減計算書)

(単位:百万円)

	令和6年度	令和5年度
収 益	126	131
費 用	137	128
正味財産増減額	△10	3

(注) 金額は、百万円未満切捨てで表示している。



②2025年度 公益財団法人 JKA 補助事業交付式

競輪とオートレースを統括する公益財団法人JKAが売り上げの一部を財源とする補助事業について、2025年度の当センターへの交付が決定し、4月6日に高松競輪場で決定通知の交付式が行われました。JKAは社会課題の解決に取り組む活動を支援しており、企業への技術支援などを行う機械振興と、福祉車両などの導入を支援する公共事業振興の分野があり、当センターは機械振興分野で補助事業の採択を受けたものです。

今回は、JKAの広報活動の一環として、香川県内の採択企業の交付式を開催し、JKA常務理事から採択事業者に補助金交付決定通知が手交されました。

事業者を代表して、当センターの池澤理事長より「採択いただき厚く御礼申し上げる。2025年度も、引き続き成長産業としての高機能産業やフードテックの支援に取り組むとともにカーボンニュートラルやDXなどにも着目し、技術開発支援、販路開拓支援などさまざまな活動を通じ四国の産業・技術の振興を図り、四国経済の発展に貢献したい。」との抱負の言葉を述べました。



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助を受けて実施しました。
<https://www.keirin-autorace.or.jp/>

③ 第二期四国地域連携支援計画（高機能素材関連分野） 全体会合

当センターは、四国地域の24支援機関が連携し、セルロースナノファイバー、炭素繊維、高機能紙などの高機能素材を活用する新製品の開発支援を軸に、知財戦略、販路開拓、資金に関することなどを支援する「第二期四国地域連携支援計画（高機能素材関連分野）」の代表者として、計画に基づく連携支援事業を実施しています。

これは、「地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律」に基づき経済産業大臣から承認を受けた事業で、計画の中で、参画する全ての地域経済牽引支援機関が出席し、前年度支援実績、当年度支援事業計画、技術動向・市場動向および共有すべき課題等に関して意見・情報交換を行う「全体会合」を年1回開催することとしています。

本年6月、全体会合を次のとおり実施して意見・情報交換を行いました。

このような機会を通じて、支援機関同士が綿密な連携を図り、効果的な企業支援に繋がりたいと考えております。

- 【開催日時】 2025年6月11日（水）
- 【開催場所】 高松サンプォート合同庁舎 北館 低層棟2階 アイホール
- 【参加人数】 47名
- 【議事次第】
 - ・連携支援計画および2024年度実施状況報告書について
 - ・2025年度実施計画および支援策について
 - ・質疑応答・意見交換など

会議の様様



支援機関の一覧

【支援機関】 24機関

代表：四国産業・技術振興センター	とくしま産業振興機構	日本政策金融公庫	徳島大正銀行	徳島県庁
徳島県立工業技術センター	かがわ産業支援財団	阿波銀行	香川銀行	香川県庁
香川県産業技術センター	えひめ産業振興財団	百十四銀行	愛媛銀行	愛媛県庁
愛媛県産業技術研究所	高知県産業振興センター	伊予銀行	高知銀行	高知県庁
高知県工業技術センター		四国銀行		

連携支援計画の詳細については次のURLを参照してください。

https://www.meti.go.jp/policy/sme_chiiki/miraitoushi/syouninrenkeisienkeikaku.html

④イノベーション四国 令和7年度上期 IC・支援機関連絡会開催

イノベーション四国では、事務局のSTEPと副事務局の産業技術総合研究所、中小企業基盤整備機構の3者の他に一部会場では新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、日本規格協会(JSA)の参加のもと、5月28日～6月17日の間で四国内5地域を巡回し、各地区のイノベーションコーディネーター(IC)および支援機関の方々との連絡会を開催し、当該年度の活動計画の周知・協力依頼と関係者からの意見や情報の収集を行いました。

連絡会では、冒頭、東野運営委員長より「イノベ四国は、首都圏一極集中や全国に先行する少子高齢化・人口減少を背景とした四国を取り巻く状況の厳しさを克服すべく、四国の研究機関や産業支援機関が地域の枠を超えて相互協力し、企業のイノベーション創出を支援するために平成20年9月に設立されたものですが、四国を取り巻く状況は厳しさを増しており、我々の活動の重要性はますます高まっています。引き続き、支援機関、イノベーションコーディネーターの皆さまには、活発な情報連携や伴走支援を通じて四国の産業活性化・企業支援をお願いしたいと思います。」との挨拶がありました。

各所からは、以下の説明がありました。

【STEP】新技術・新製品開発支援、販路・用途開拓支援、四国産業技術大賞への革新産業賞設置

【産総研】産総研四国センターの活動概要、四国工業研究会の活動、四国地域貢献活動

【中小機構】中小機構の取組紹介(100億円企業創出支援、中小機構が実施する補助金事業、大阪・関西万博での取組みなど)

【NEDO】分野横断的研究開発支援の紹介、四国NEDOデスク設置

【日本規格協会】新市場創造型標準制度

全体説明後の情報交換の時間では、積極的な情報収集や意見交換が行われるなど、連絡会全般を通して、IC・支援機関の企業支援活動についての活発な議論がなされた有益な会合となりました。また、一部の会場では有志による懇親会を開催し、こちらも大いに盛り上がりました。

今後もIC・支援機関との連携促進を図り、より実効性のある企業支援を行っていききたいと思います。

会場	開催日	場所
高松	5月28日(水)	高松センタービル
徳島	6月6日(金)	あわぎんホール
高知	6月13日(金)	高知県立県民文化ホール
松山	6月16日(月)	松山二番町ホール
東予	6月17日(火)	SAIJO BASE



東野運営委員長挨拶(高松)



会場の様子(徳島)

【お知らせ】

四国経済産業局と国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(以下、NEDO)は、四国経済産業局内に「四国NEDOデスク」を設置し、四国地域におけるスタートアップや中堅・中小企業等のイノベーション創出に向けた支援体制を強化します。

四国NEDO デスク

- 【設置日】 令和7年5月27日
- 【場所】 四国経済産業局 地域経済部 新事業推進課内
- 【主な業務】 地域企業や研究機関の技術開発等の相談対応や支援施策の情報発信
- 【個別相談会】 2か月に1回程度、NEDO職員が在席し、個別相談会を実施
- 【相談申込先】 E-mail exl-nedo-shikoku@meti.go.jp (随時受付)



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助を受けて実施しました。
<https://www.keirin-autorace.or.jp/>

⑤ 全国地域技術センター連絡協議会 事務連絡会

全国地域技術センター連絡協議会の事務連絡会が大阪科学技術センターで開催されました。同連絡会は、当センターと同様の技術支援活動を各地域で実施しているセンター10団体の連絡会で大阪科学技術センターが事務局をしています。

連絡会では各団体の事業トピックスや各団体からの課題について意見交換しました。当センターからは東野専務理事が令和7年度の活動内容を紹介しました。また個別テーマとしてDX化やAI導入による業務の効率化について意見交換しました。

翌日には、RITE(地球環境産業技術研究機構)のDAC(Direct Air Capture)装置を視察しました。

【開催月日】 令和7年4月24日(木)

【場 所】 大阪科学技術センター

【議 題】 1. 各所からの令和7年度事業トピックス
2. 個別テーマについてのディスカッション

【参加機関】 北海道科学技術総合振興センター、東北活性化研究センター、北陸産業活性化センター、中部科学技術センター、名古屋産業技術研究所、大阪科学技術センター、中国地域創造研究センター、四国産業・技術振興センター、九州オープンイノベーションセンター、南西地域産業活性化センター、日本科学技術振興財団



株式会社マルヤス

- 設立：1976年3月
- 資本金：5,000万円
- 代表者：代表取締役 野村 俊夫
- 従業員数：22名
- 本社：愛媛県新居浜市外山町16番32号
TEL：0897-47-6010
URL：<https://ehime-maruyasu.co.jp/>
- 営業所：関東営業所/関西営業所
- 事業内容：計量技術を生かした製品の開発・製造・販売
FA及びソフトの開発
成形機用洗浄剤及び成形機用洗浄装置の開発・製造・販売
非加熱再生ペレット製造装置の開発・製造・販売



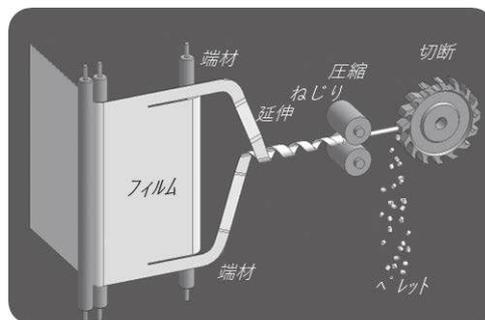
- 企業PR：マルヤスでは装置開発を通じて、プラスチック製造現場の無駄をなくすことでの生産の効率化を図ることと環境への配慮の両立に挑んでいます。私たちは装置開発を通じて、製造現場の「無駄なこと」や「もったいないこと」を全部なくしていきたいという視点で現場を見つめてきました。

例えば、包装フィルムやレジ袋やゴミ袋などプラスチック製品の製造工程では形状を整える為にカットされる耳ロスと呼ばれる端材が発生してしまいます。この耳ロスは大抵の場合は廃棄されていました。マルヤスではこの耳ロスを廃棄せず、もう一度再生原料として生まれ変わらせる為に、非加熱・非溶融で再生できるペレット装置「ecoペレ GPシリーズ」を開発しました。この装置によって、再加熱による再生原料の製造が不要となり、廃棄物の削減はもちろん、CO₂排出の抑制にもつながっています。

他にも製造現場での無駄な混合原料の製造や人為的ミスにより日々発生しているロス品やクレーム品をなくす為、必要な時に必要な分だけ正確配合原料を押し込む「混ぜない不思議な混合機まぜコン」で無駄な混合をなくし、製造現場の自動化と効率化を推進しています。さらにプラスチック専用の洗浄液と装置の開発にも成功しました。

このように多様な技術を盛り込んだ製品で、ロスの火種をなくし、無駄を減らし、製品価値を高める現場づくりを支えています。

現在国内外への装置導入も加速度的に進んでいて、装置は世界の製造現場で活躍中です。私たちマルヤスは、これまでもこれからも、皆様と共にCO₂の削減と、社会のごみの削減、工場のロス削減を実現していきます。



【非加熱圧縮ペレット再生装置】

賛助会員からのトピックス

平素より賛助会員のみなさま方には、当センターの活動をご支援いただき厚く御礼申し上げます。

このコーナーでは、それぞれの事業分野で、特徴のある活動を展開しております賛助会員からの話題性に富んだ情報をご紹介します。



三井物産株式会社 四国支社（香川県高松市）

● 経営理念

ステークホルダーの皆さまや社会からの期待・要請に応え、当社がグループ経営を通じて果たすべき企業使命と目指す姿、日々の判断や行動の基準とする価値観です。

Mission: 世界中の未来をつくる

大切な地球と人びとの、豊かで夢あふれる明日を実現します。

Vision: 360° business innovators

一人ひとりの「挑戦と創造」で事業を生み育て、社会課題を解決し、成長を続ける企業グループ。

Values: 「挑戦と創造」を支える価値観

変革を行動で 多様性を力に 個から成長を 真摯に誠実に

● 事業紹介

三井物産ならではの「総合力」を発揮する16の事業本部が、さまざまなビジネスを通じて築き上げてきたネットワークを駆使し、世界中のお客さまと共に、未来をつくります。今回は四国で活躍する3本部をご紹介します。

① エネルギーソリューション本部



【定置型蓄電池事業Tokai2】

複数事業領域の知見を結集した当社ならではの複合的かつ機動的な取組みで、分散太陽光・蓄電池・エネルギーマネジメント、EV関連インフラ、モビリティ電動化などの電力、水素・バイオ燃料などの次世代エネルギー、排出権・CCUSなど、脱炭素化に向けたソリューション提供・新事業創出に挑戦しています。

② ウェルネス事業本部



【病院・クリニック事業】

「医療」、「ファーマ」、「EX」の領域でビジネスを創造し、付加価値の高いサービスを提供することにより、世界中の人々にとって新しい「豊かさ」を生み出す取組みを推進します。

※EX=Employee Experience（従業員価値体験）

③モビリティ第二本部



【Marvel Falcon】

船舶・航空・宇宙・鉄道分野で、新技術やグローバル・ビジネスパートナーとのネットワークを活用し、地球環境と調和した新時代の輸送インフラの創造、安定供給を推進しています。

●社会貢献活動

世界中の国や地域における三井物産グループの事業活動に加え、社会貢献活動の面からも、社会と会社の持続的な成長に寄与します。

活動事例：三井物産共創基金（2023年設立）NPO、研究者、ソーシャルスタートアップなどの社会課題に対する挑戦者である「イシューファイnder（社会課題の発見者）」と事業経験をもつ三井物産が双方の知見を掛け合わせ、社会的課題の解決の道筋を創り出す活動を助成します。

基金の助成規模は目安として1,000万円～1億円／件で、これまで国内外で4件を助成案件として選定しました。



建設業界における余剰建設材廃棄物の軽減とCO₂削減を目指すNew Norm Design社
(2024年選定)

《会社概要》

会社名：三井物産株式会社

創立：1947年（昭和22年）7月25日

資本金：343,441,628,595円（2025年3月31日現在）

従業員数：5,388名（連結従業員数：56,400名）（2025年3月31日現在）

事業所数：124拠点（62か国・地域）

国内11拠点／海外113拠点（2025年4月1日現在）

本店：東京都千代田区大手町一丁目2番1号

T E L：03-3285-1111（代表）

U R L：<https://www.mitsui.com>

CORPORATE LOGO



MITSUI & CO.

300年以上の歴史を持ち「天」「地」「人」を表すとされる『三井』の店章（『丸に井桁三』）に由来。世界の未来に貢献していく三井物産を体現するロゴです。

光陰矢の如し

「光陰矢の如し」。誰もが時の移ろいの速さに驚かされた際に頭に浮かぶ諺ではないかと思います。学術的なことはさておき、若い年代では日々の時間の流れを寧ろ長く感じたことも、人生100年時代の6割を経過した我が身として、最近つくづく「光陰矢の如し」を感じます。過ぎ去った時を大切に思い、振り返っては反省をし、残りの人生を仰ぎ見てこれから先の人生方針を考える。分かっているけれども方針どおりには実践できずにまた反省。還暦を過ぎて進むべき道しるべが雲煙模糊の中にあって、人生をさ迷い悪戦苦闘をしている日々を少し不安に感じることがあります。

人に誇れる趣味や秀でた能力もなく、今更この歳になってどうこう考えても仕方ないことで、これが凡人の人生かもしれません。効率よく人生成長できる教育システムがあればと思います、YouTubeを視聴してみたり、先人の本や歴史の本を手にとってみたりするものの、我が身との違いに違和感を覚え、途中で止めてしまうことの繰り返しです。迷いに迷って自分に丁度良い手本は「感謝」を教えてもらった父親の後ろ姿かと気づかされ、今は、毎週末、亡き父親が残した畑仕事に汗を流し、晴耕雨読を実践しています。

現在の我が身の状況はこういったところかと回想して我に返ると、一人息子に父親として誇れる後ろ姿を見せられてないことを恥じて焦るところもありますが、地道にコツコツが身の丈にあっていると納得させて、今しばらくは現状維持の日々を過ごすのだらうと思います。

ところで、今年も早いもので、「STEPねっとわーく夏号」が発行される頃には半年が経過したことになります。今年の干支は「乙巳（きのとみ）」で再生や進化の年だということでしたが、皆さんは如何過ごされているのでしょうか？年初に立てた今年の目標もすっかり色あせてしまって、仕事で日々忙しく過ごされている方も多いのかもしれません。身も心も開放的になる夏を迎え、休日などでリラックスしている時間を利用して頭の中で中間チェックを行い、PDCAサイクルを回し、今年の後半戦に臨んでみませんか？

私の場合、中間振り返りでは後厄で散々だった昨年から振り返ることになります。身体能力と気持ちがアンバランスになっている

のを顧みず、この位なら大丈夫だろうと過信して、体のあちこちに無理をさせてしまったのだと思いますが、2回も大きな身体故障を起こしてしまいました。結果、職場や家族を始め周りの方々にご迷惑をお掛けしてしまいました。

恥を忍んで私の失敗が誰かの役に立てばと思い少し詳しくお話しすると、身体故障の一つ目は、家庭の庭木の剪定作業において、ヘルメットをかぶり、用心しながら脚立に上って道路にはみ出た枝木を切り落としていた際に、うっかり切り落としてしまう方の枝木をつかんで切ってしまい、落下する枝木とともに2m超の高さから道路に背中から落ちてろっ骨9本の骨折と外傷性気胸を併発させてしまったことです。(救急車を使わなかったこともあり)後から言われたことですが、医者からは救急車で大至急病院を受診すべき容体だったと指摘され、たまたま運良く助かっただけだったようです。若い時なら猫の立ち直り反射のごとく防げた怪我だったはず・・・?と思うのですが・・・?二つ目は、5時間ぶっつけで車の運転をした上に、健康のために始めた地域スポーツを2時間楽しんだ後、疲れの溜まった体を顧みず畑でツルハシ使って穴掘り作業を行った結果、腰椎椎間板ヘルニアを罹患してしまいました。医者からはどれも腰に負担を掛ける動作で一遍にやり過ぎと指導されてしまいました。いずれも、それまででは考えられないことですが、還暦を超えた我が身は、自分では気が付かないところで確実に老化が進んでいることに気づかされた出来事でした。80歳を超えても元気に仕事に励んだりスポーツを楽しむ方もおられ、その方々と比べるとまだまだ若いので、このくらいの事ならと油断するとダメということを知らされた昨年でした。

それから迎えた今年だったので、乙巳らしく(?)「身体能力の衰えを自覚して、健康第一としながらも、殻に閉じこもらず何事にも興味を持ってチャレンジしてみよう」を目標にしました。

細かくは申し上げませんが、いくつかチャレンジしていて、今のところ身体の故障を招くことなく無事に過ごすことができているので自己評価は及第点です。甘々過ぎるとの声も聞こえてきそうですが、年後半に向け肯定的な自己暗示による効果を期待しています。年末に一年を振り返った時、最後までやり切れずに充実感もなく、「あっ」という間に年末を迎え、「光陰矢の如しだなあ」とため息をつく事態だけは避けたいと思う今日この頃です。(M.M.)

編集後記

今年の夏も全国的に猛暑が予想されております。ラニーニャ現象の発生により太平洋熱帯域の海面水温が高くなるようです。冷房機器を適切に使用することはもちろんですが、普段から暑さに負けない体力づくりに努めたいと思います。(S.W)

STEPでは、インターネットを通じて様々な情報提供を行っております。

● **STEPホームページのご紹介**

STEPの事業案内として、行事、催し物および個別事業の紹介などを掲載しています。

<https://www.tri-step.or.jp/>

● **イノベーション四国ホームページのご紹介**

イノベーション四国の事業案内として、行事、催し物および個別事業の紹介などを掲載しています。

<https://www.tri-step.or.jp/s-innovation/>

● **「四国発!ヘルシー食品&素材マッチングウェブ」(ヘルシー四国)のご紹介**

四国を中心とした食品素材・商品や提供サービスなどを掲載し、全国の食品関係企業の方々に検索・閲覧していただくことにより、企業間のマッチングを支援するサイトです。マッチングをお考えの食品関係企業様はぜひ企業登録・閲覧会員にご登録ください。

<https://www.healthy-shikoku.jp/>

● **メールマガジンのご紹介**

メールマガジンでは、STEP事業、国などの公的助成制度および、大学・公設試験研究機関などの、イベント情報および最新情報を、月2回提供しています。

また、STEPが事務局を務めるイノベーション四国活動の浸透と認知度向上のため、協議会事業の一環として情報提供も行っています。

配信をご希望される方は、STEPホームページ/賛助会員制度よりご登録ください。

<https://www.tri-step.or.jp/join/subscription.html>

STEPねっとわーく (STEPテクノ情報)

Vol. 31 No. 2 (通巻 106 号)

発行月 令和 7 年 7 月

編集発行人 池澤 寛

発行所 一般財団法人 四国産業・技術振興センター

Shikoku Industry & Technology Promotion Center

〒760-0033 香川県高松市丸の内2番5号 ヨンデビル

Tel (087) 851-7025 Fax (087) 851-7027

E-mail : step@tri-step.or.jp

URL : <https://www.tri-step.or.jp>

印刷所 セキ株式会社

しあわせのチカラになりたい。



四国電力株式会社